

## 市民の皆様からのご意見と札幌市の考え方

本年度の予算編成方針については平成18年(2006年)10月5日に、各局の予算要求方針については11月8日にそれぞれ公表し、12月8日までの間、市民の皆様からのご意見をいただきました。

お寄せいただいたご意見の要旨とそれに対する札幌市の考え方について、以下のとおり公表いたします。

・意見の件数	2件
・意見提出者	2人
・提出の方法	電話 1件
	電子メール 1件
	来訪 0件

担当局	意見の要旨	市の考え方
環境局	子どもたちに対して自然をどのように守るかをもっと教えることが必要だ。 予算を自然や環境を守る大規模な活動に使ってはどうか。	身近な自然や地球環境を保全し良好な状態で将来の世代に引き継いでいくことは非常に重要であると考えております。こうした考え方のもと、本市においては、札幌市環境教育・学習基本方針に基づき、学習用の環境副教材を全小学生に配布し授業で活用しているほか、札幌市環境プラザにおいて環境保全に関する様々な情報を子どもたちへ発信するなど、環境教育の充実に努めているところです。 環境問題の解決には市民一人ひとりの取り組みの積み重ねが大切であることから、今後も市民の環境保全活動の普及に努めていきたいと考えております。
建設局	創成川通アンダーパス連続化整備の予算は足りない、事業をやめるべきだと思うが後戻りはできないか。	この事業は、都心アクセス交通と都心通過交通を地上道路と地下トンネルに分離することにより、創成川通とその周辺道路の交通円滑化を図るとともに、トンネルの上部空間に多くの方がやすらげる河川緑地空間を整備することで都心東側街区に潤いを与えるなど、都心の魅力向上に大きく貢献するものと考えております。 現在、トンネル本体に係わる工事の進捗率が30%を超えておりますが、事業の実施に当たっては、平成15年度に市民議論(1000人ワークショップ)を行い、多くの市民に賛同をいただいております。 魅力ある都心を創り上げていく本事業の推進にご理解をお願いします。